

区民意識調査結果【概要版】

1. 調査の概要

- 「住宅マスタープラン」の見直しに向け、区民の意向・意見を把握するため実施。

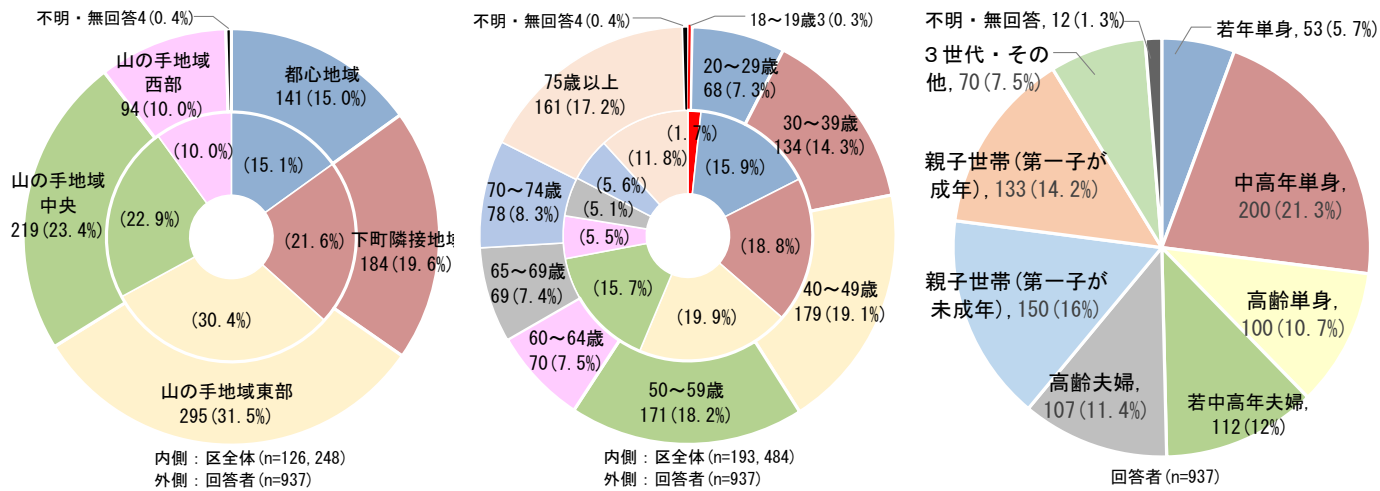
実施要領・回収状況

調査対象	18歳以上の世帯主の方 *住民基本台帳から無作為抽出
配布サンプル	発送 3,000 - 不達 19 = 2,981 (回収率の分母)
調査方法	郵送配布・郵送回収又はWEB回答
調査期間	令和4(2022)年10月3日(月)～21日(金) *WEB回答は10/28受付まで、用紙回答は12/1到着分まで集計
回収数	有効回収数 937票 (有効回収率 31.4%)

2. 集計結果の概要

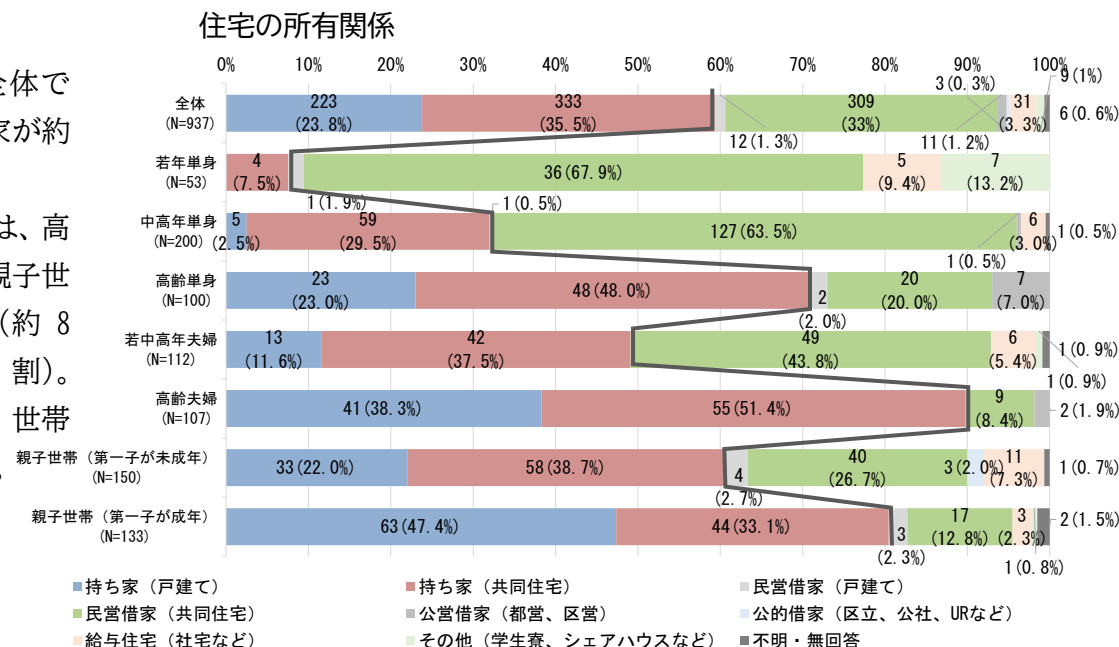
①回答者の特性 (左図：地域別、中図：世帯主年齢別、右図：世帯構成別)

- アンケート回答世帯は、本区の地域別世帯数分布と概ね合致しているが、世帯主年齢別世帯数比率と比較すると、39歳以下の回答が15ポイント程度少なく、その分60歳以上が多くなっている。



②回答者の現在の住宅

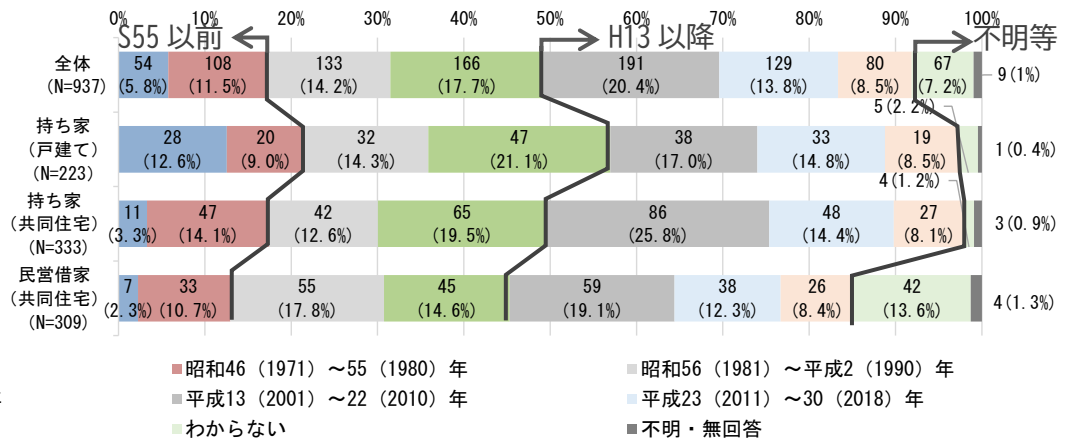
- 住宅の所有関係は全体で持ち家が約6割、借家が約4割。
- 持ち家率が高い世帯は、高齢夫婦(約9割)、親子世帯(第一子が成年)(約8割)、高齢単身(約7割)。
- 単身(若年、中年)世帯で民営借家率が高い。



※ここでは、若年：～29歳以下、中年：30～64歳以下、高齢：65歳以上として区分

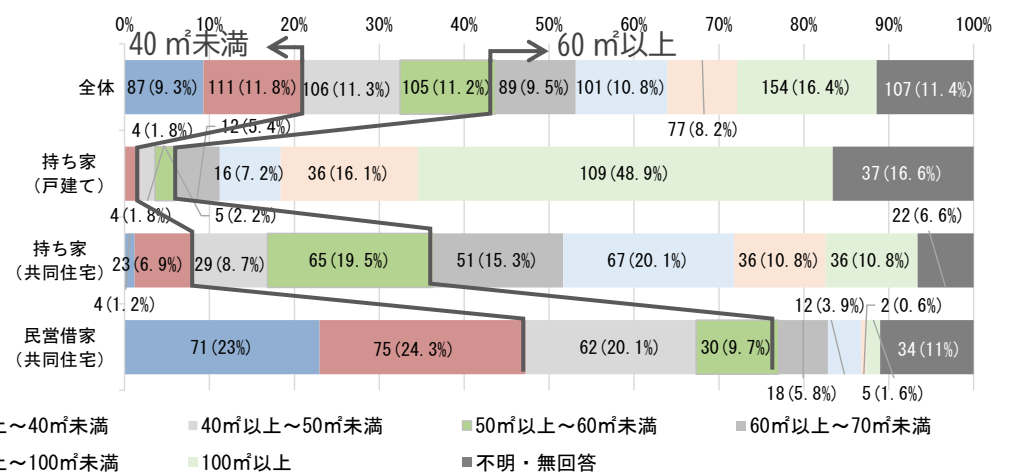
- 住宅全体の建築時期は、昭和55年以前が約2割、平成13年以降が約4割。
- 所有関係・建て方別にみると、共同住宅は持ち家・借家ともに、平成13年以降が約4～5割と比較的新しい。

住宅の建築時期



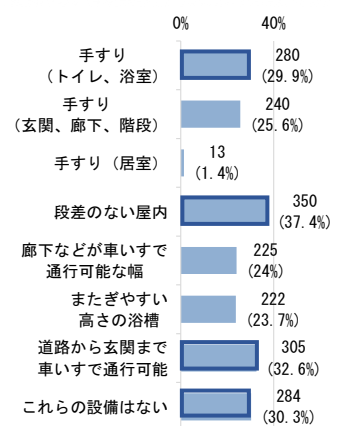
- 住宅の延べ床面積は、持ち家(戸建て)では80㎡以上が6.5割、持ち家(共同住宅)で60㎡以上が約6割、民営借家(共同住宅)で40㎡未満が約5割、40～60㎡未満が約3割。

住宅の延べ床面積

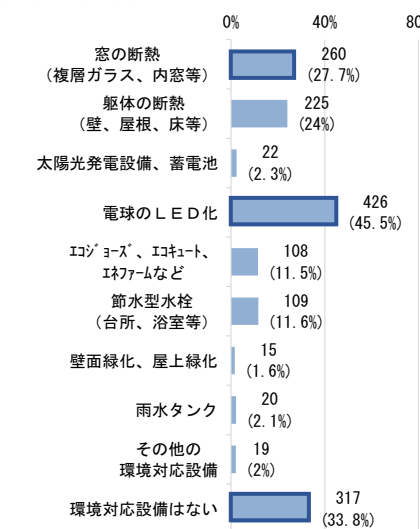


- バリアフリーは、段差のない屋内、道路から玄関まで車いすで通行可能、手すり(トイレ・浴室)の整備が約3割となっているが、これらの設備はない割合も、同様に約3割。
- 環境対応は、電球のLED化が約4.5割、次いで窓の断熱が約3割となるが、設備はないも約3割。
- その他の設備では、テレビモニタ付インターホン、インターネット設備が約7割、防犯カメラが5割強。

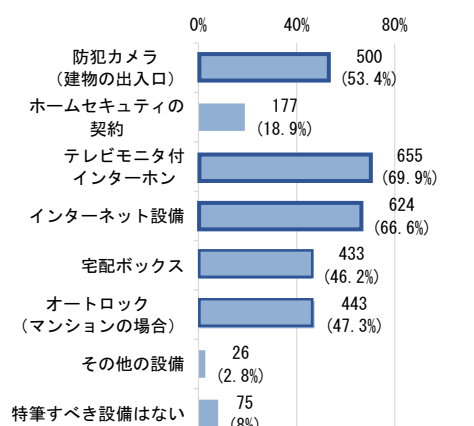
バリアフリーの状況



環境対応の状況



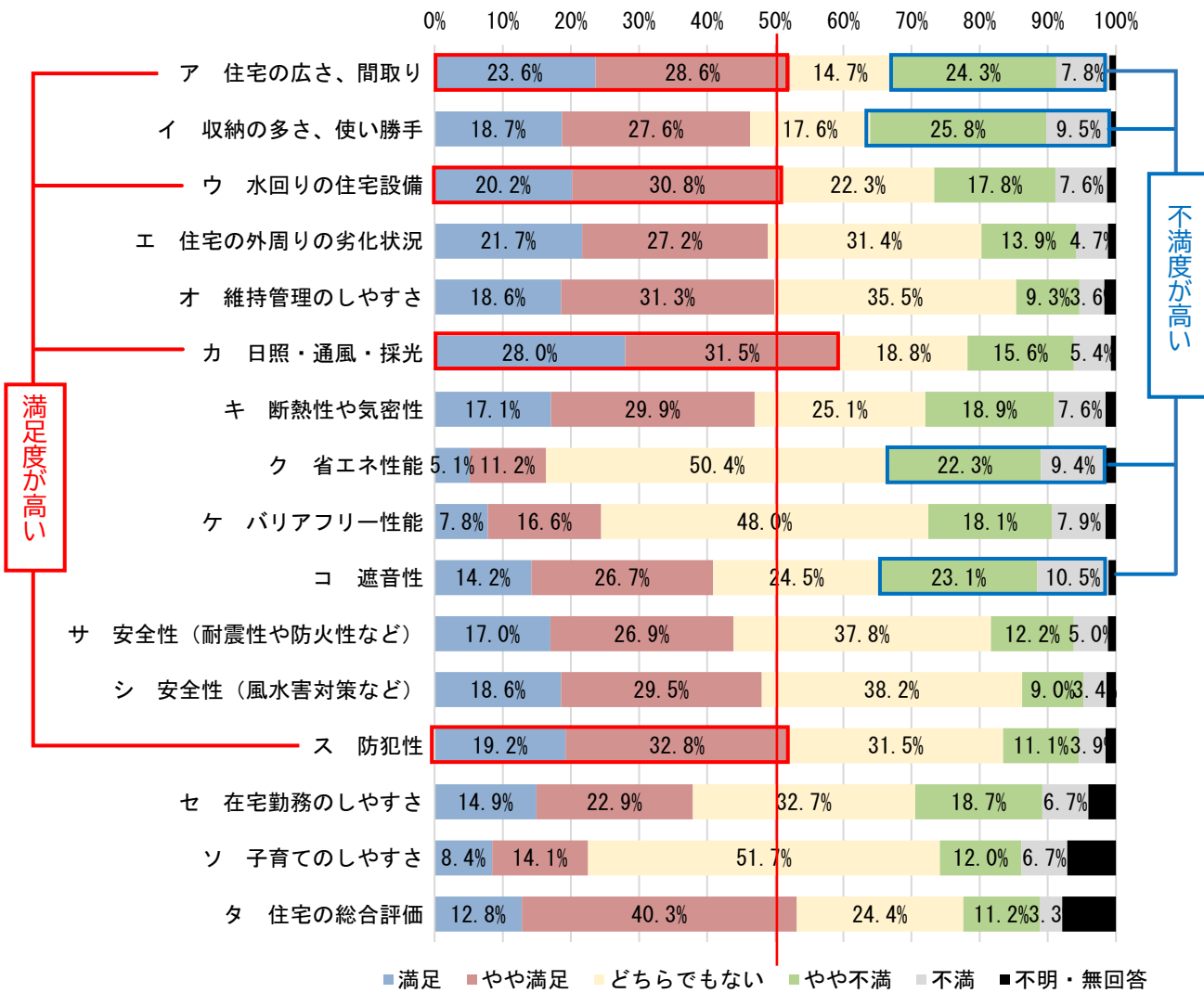
その他の設備の状況



※グラフは不明・無回答を除いて表記

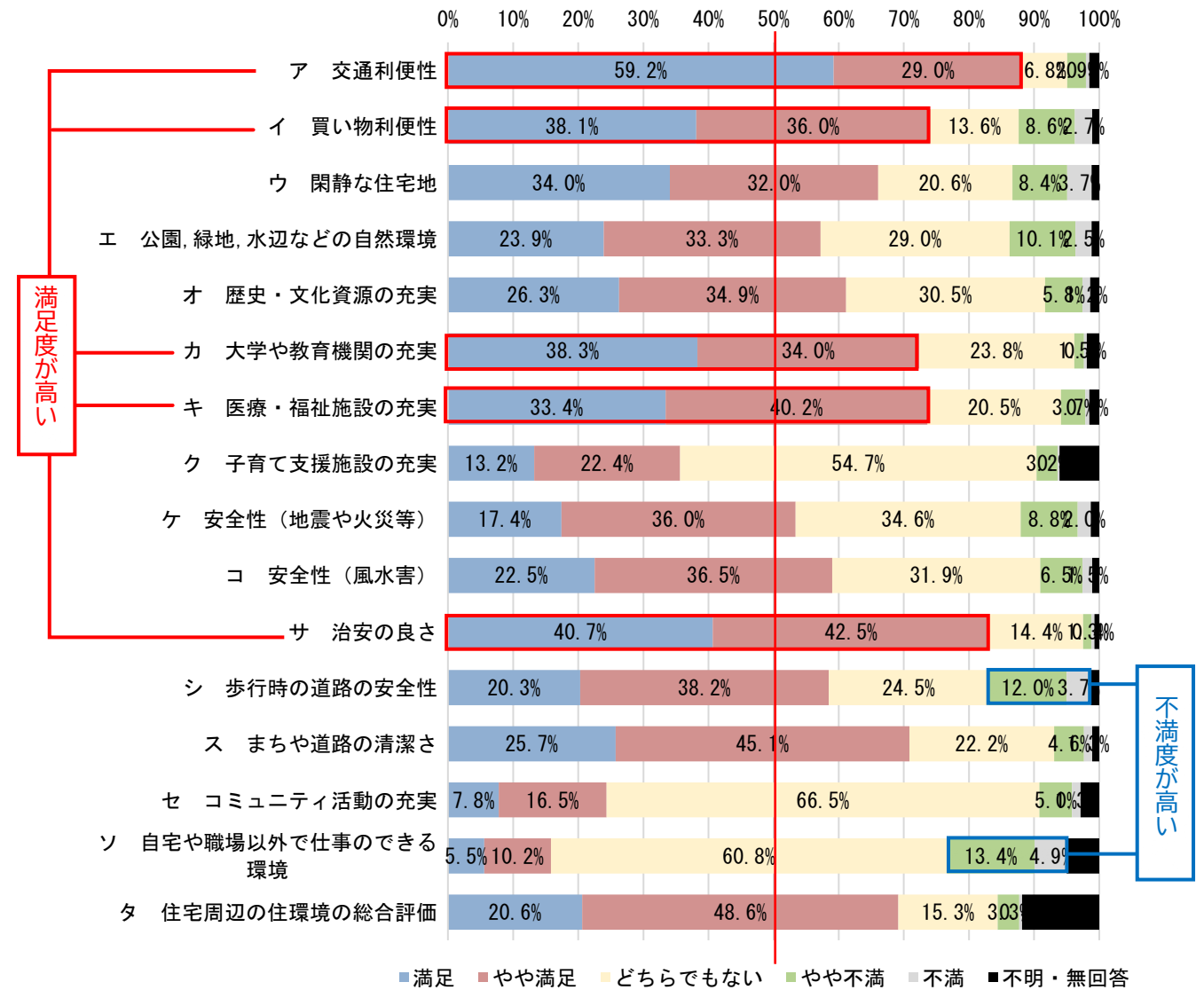
③住宅の満足度

- 多くの項目で高い満足度（満足+やや満足）を示しているが、カ日照・通風・採光、ア住宅の広さ・間取り、ス防犯性、ウ水回りの住宅設備は5割以上と特に高い。
- 不満度（やや不満+不満）は、イ収納の多さ・使い勝手、ア住宅の広さ・間取り、コ遮音性、ク省エネ性能が3割以上。
- 総合評価としては、満足度（満足+やや満足）が53.1%と過半を占める。

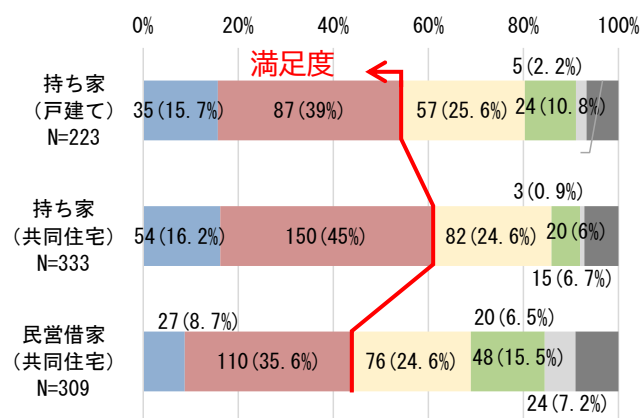


④住環境の満足度

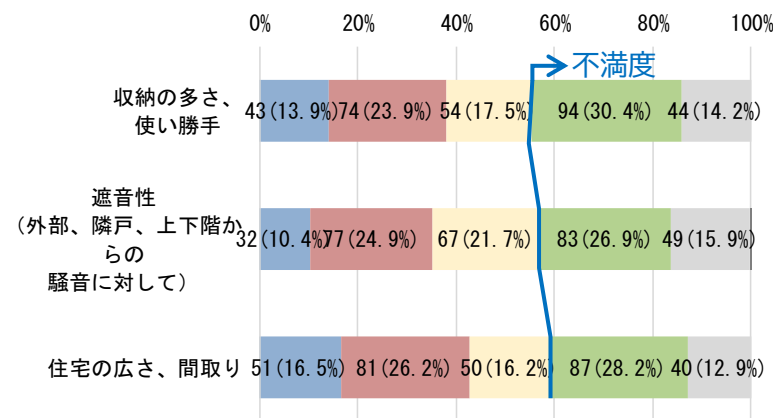
- 多くの項目で満足度が5割以上で、ア交通利便性、サ治安の良さは8割以上と特に高く、次いでイ買い物利便性、キ医療・福祉施設の充実、カ大学や教育機関の充実など、施設立地に関する項目が続く。
- 不満度は総じて高くないが、シ歩行時の道路の安全性、ソ仕事のできる環境が15%以上と一定数見られる。
- 総合評価としては、満足度が69.2%と大半を占める。



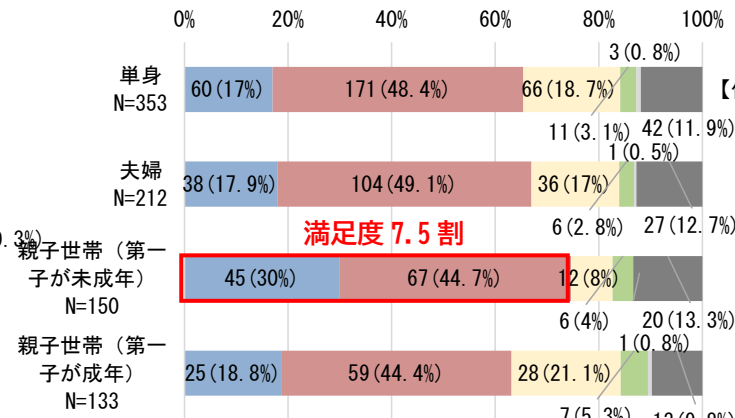
所有関係別の住宅の総合評価



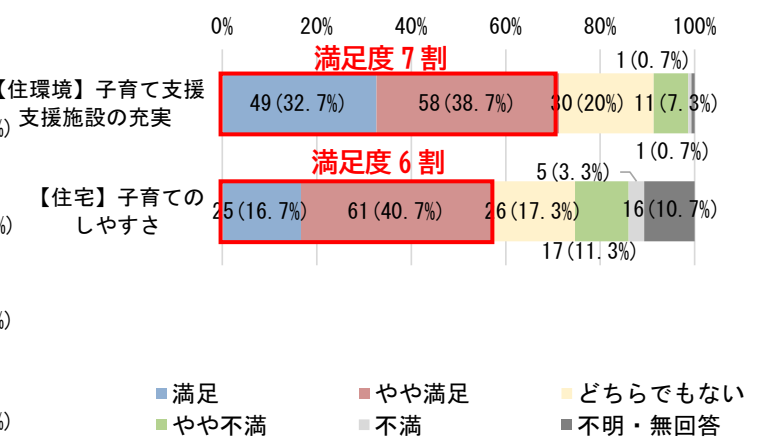
民営借家（共同住宅）で不満の多い項目（ベスト3）



世帯構成別の住環境の総合評価



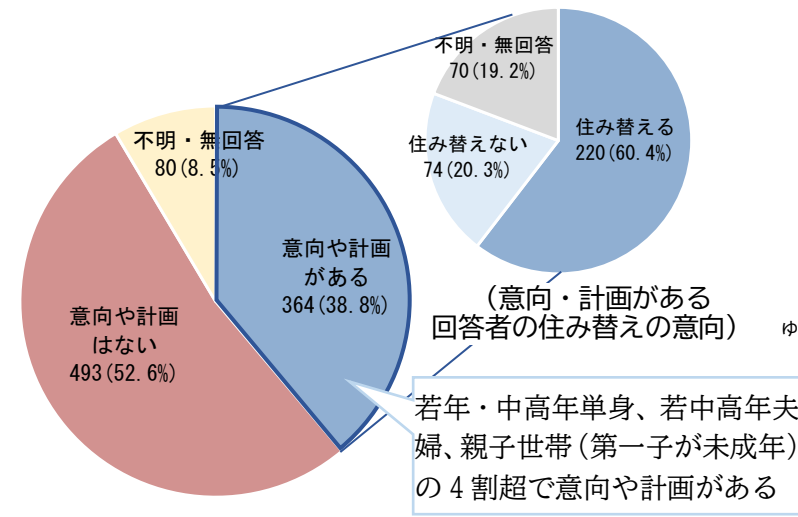
親子世帯（第一子が未成年）による関連項目の評価



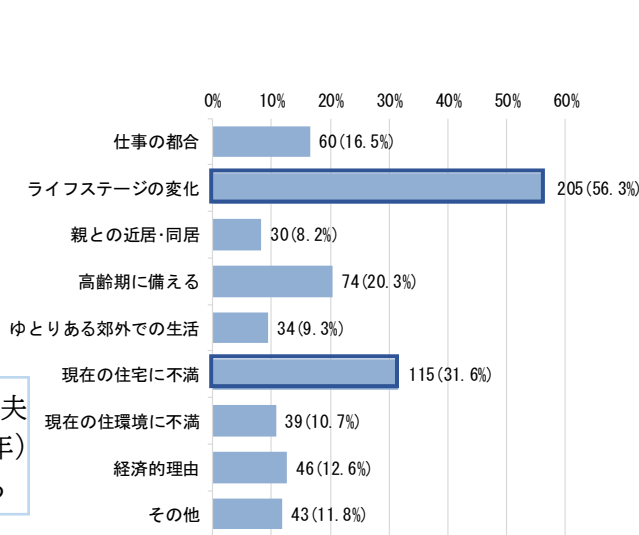
⑤今後10年程度の住み替えやリフォーム・建替えの意向・計画の状況

- ・住み替えやリフォーム・建替えに関して、意向・計画があるのは約4割（うち住み替えが約6割）。その理由は、ライフステージの変化が約6割、現在の住宅に不満が約3割である。
- ・住み替え等にあたり、住宅で重視する点は部屋の広さや間取りが約8割、住宅の機能性や適切な住居費が5割超と高い。住宅の機能面で重視するのは防犯性能、防音・遮音性能が4～5割程度を占める。
- ・住環境で重視する点は、交通や買い物の利便性が約9割、防災・防犯の安全性が約6割となっている。

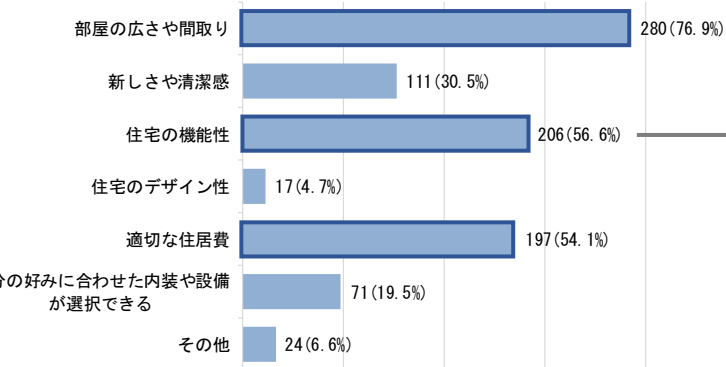
住み替えやリフォーム・建替えの意向等



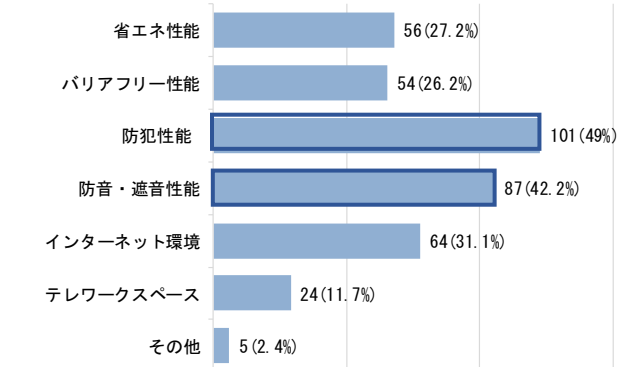
住み替えやリフォーム・建替えの理由



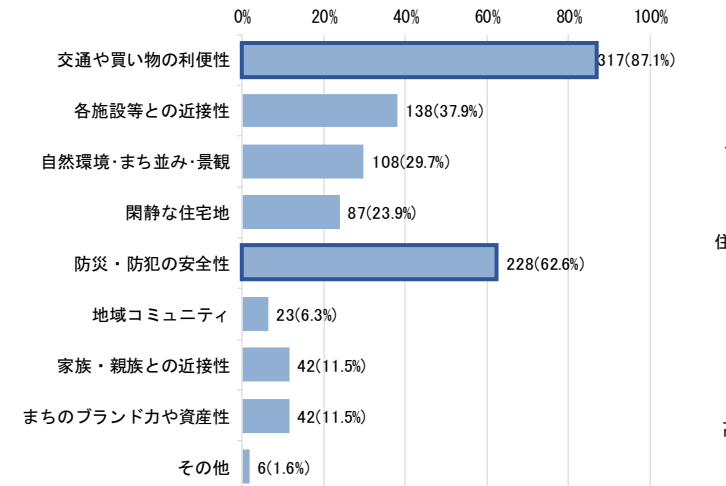
住宅で重視する点



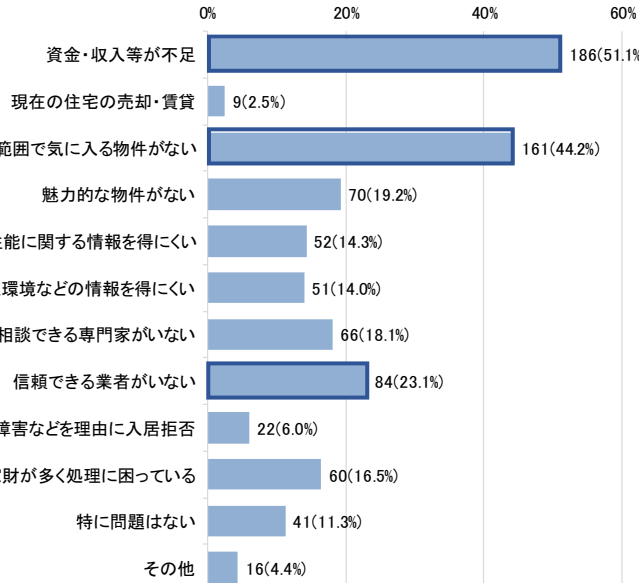
機能で重視する点



住環境で重視する点

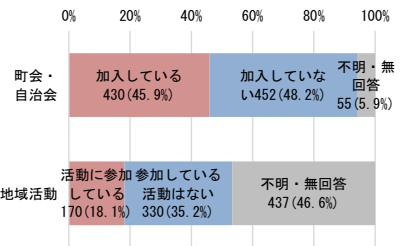


住み替え等を行う上での課題

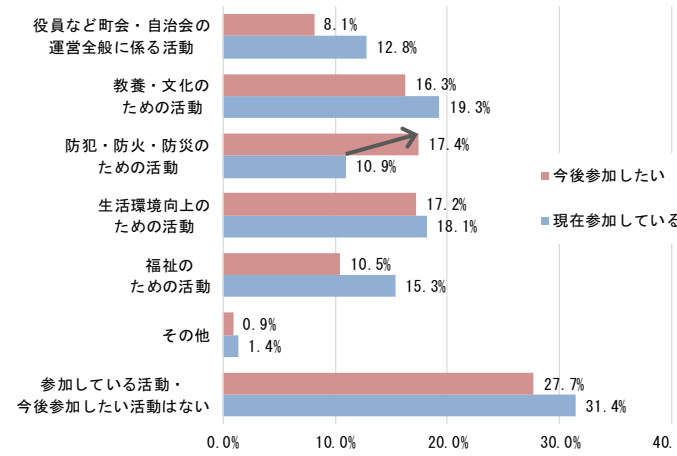


⑥町会・自治会への参加状況、今後参加したい活動

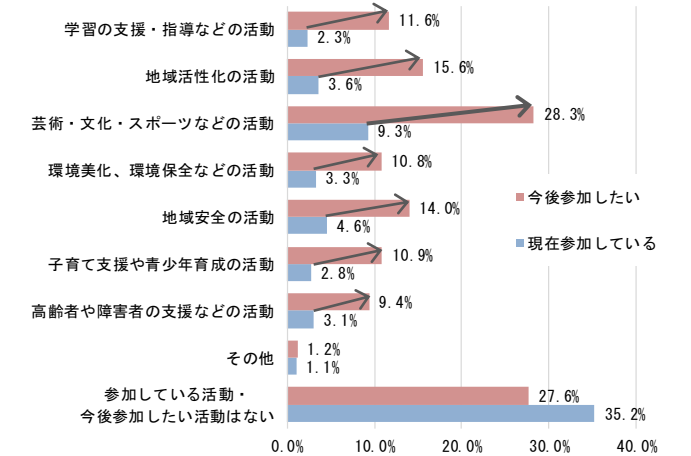
- ・町会・自治会の加入率は5割弱だが、そのうち現在参加している活動はない回答者が約3割。町会・自治会活動で、現在参加している割合より今後参加したい割合が上回るのは防犯・防火・防災活動のみ。
- ・一方、町会・自治会以外の地域活動に参加している割合は2割弱と低いが、今後の参加については芸術・文化・スポーツ活動を中心に、参加意向が高まる傾向。



町会・自治会の現在参加・今後参加したい活動



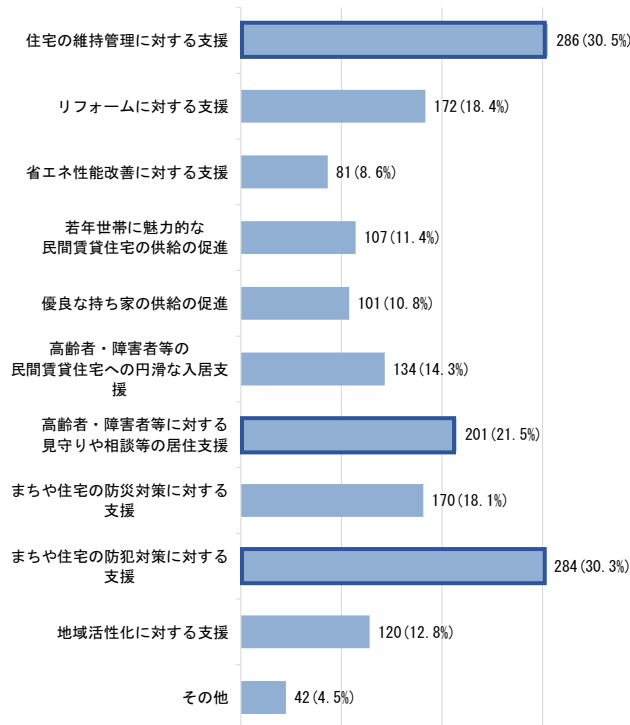
町会・自治会以外で現在参加・今後参加したい活動



⑦地域に住み続けるために必要と考える支援

- ・必要な支援は、住宅の維持管理、防犯対策に対するものが約3割と他に比べて高い。
- ・世帯構成別にみると、若年単身で魅力的な民間賃貸住宅の供給促進や防犯対策が4割以上と高く、高齢単身で高齢者・障害者等への居住に対する支援が4割以上と高くなっている。

必要な支援



世帯構成別必要な支援

